

登録コード	F3B70930	開講年度	2026			
授業科目	バイ オエンジニアリング実験Ⅱ				担当教員	小関 道彦 他
英文授業名	Experiments in Bioengineering II				副担当	照月 大悟
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・3時限 月曜・4時限	対象学生
講義室			授業形態	実験	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	本授業では、バイオエンジニアリングに関わる基本的な事柄についての実験実習を行とともに、本課程の研究室で用意した実験項目を行う。本実験実習を通して、専門分野の基礎知識を確認し、実際的な問題に対応できる基本的な能力を養成する。					
(5)授業計画	授業時間は100分である。 詳細については、別途、eALPSを参照すること。 第1回：ガイダンス 第2から第13回：6つの研究室が用意した実験項目を各2週で実施 第14回：実験の振り返り、レポート作成 授業アンケート 第15回：予備日					
(6)成績評価の方法	実験態度、レポートならびにプレゼンテーションの質を総合的に評価する。なお、レポートは実験結果の処理、図による表現および考察など文章表現力も含めて評価する。 eALPSに掲載されるガイダンス資料を必ず参考にすること。					
(7)成績評価の基準	(1)問題の設定が適切であり、(2)その問題の背景を説明できており、(3)その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(4)それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており、(5)その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓説している」。(1)から(5)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。					
(8)事前事後学習の内容	・この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、15時間以上の時間外学習が必要となります。 ・各回の実験テーマの内容を図書館等を利用して事前に学習し、授業後には授業で出された課題について調査・検討し、レポートの作成を行うこと。					
(9)履修上の注意	予習・復習を十分に行うこと。 病欠などのやむを得ない場合を除いて、欠席者に対する再実験は行わない。全実験テーマの履修を原則とする。					
(10)質問,相談への対応	随時受け付ける。					
(11)学生へのメッセージ						
(12)その他						
【教科書】						
【参考書】	必要に応じて紹介する。					